

## 5. 主要国の国別・商品別貿易金額・単価・数量分析に関するデータ作成 および四半期・月次の国別・商品別貿易データ作成・更新

### イ．調査の目的

2008年秋のリーマンショックに端を発した国際金融危機は世界の貿易に影響を与え、2008年末以降の輸出入額は大きな落ち込みとなり、2009年末頃から徐々に回復の兆しを見せ始めた状況にある。そこで、世界主要国の輸出、輸入ができるだけ具体的な品目ごとにどのような状況であったのか、各国の貿易統計をもとに調査する。

そのため、年次データのみ利用可能な国・地域の貿易統計についての調査は年次データでおこない、月次データが利用可能な国・地域の貿易統計については、四半期および月次のデータにより分析が可能なようにする。

また、各国間の比較が可能なためHS分類の6桁レベル(約5500)の品目を対象に行い、できるかぎり具体的な品目の増減が分かることを目的にする。

### ロ．調査結果の概要

2008年9月のリーマンショックに端を発した世界的な金融危機は、世界貿易に大きな影響を与え各国の貿易額を大きく減少させる事態になった。その影響は現時点(2010年3月初旬)でも完全に解消したわけではなく、金融危機以前の貿易水準にまで戻ってはいない。

本調査の狙いは、2008年末以降におきた世界貿易の縮小がどの程度であったのか、その後の回復状況はどうなっているのか、などを念頭に置き、そうした分析に役立つ貿易データの時系列整備を行うことである。

二つの方法でデータ整備を行っている。

第1は、機械機器、IT関連品目、IT関連部品類など国際貿易マトリックスを作成している約100品目について、月別、四半期別の貿易額データの時系列で作成する。これにより日頃から関心のある国際貿易マトリックス対象品目レベルでの変化を知ることができる。ただし、その対象は多数の商品の集合であるので、貿易指数を作成しない限り数量の増減や単価の変化を知ることができない。

第2は、各国の貿易統計品目が共通している国際統一商品分類(HS分類)の6桁レベルの品目で年次、月別、四半期別の各時系列データ整備を行う。HS6桁分類の品目数は5000を超えるから、詳細な品目レベルでの分析や国際比較が可能になる。価額だけでなく数量および単価のデータを収集することで、金融危機後に影響を受けて落ち込んだ状況や、その後の回復過程の状況などを具体的な品目レベルで知る手がかりとなる。特に、貿易額の増減が数量の増減によるものなのか単価の上昇/下落によるものなのかを知ることが可能である。

報告書では、データ整備の一端を紹介している。第 編ではデータ整備の方法と、実施する上での課題およびデータ整備結果の利用上の留意点をまとめている。そのうえで、第 編に貿易マトリックスレベルの品目の変化と、HS6 桁レベルの品目で貿易額が大きいものを選び価額・数量および単価の変化を要約し報告書に収録している。データ整備は 1999 年から最新時点までの年次、四半期、月次の長期時系列のデータを収集しているが、データ量が膨大すぎるので本報告書は概略に留まり、詳細なデータは CD-ROM (約 110 枚) に収録している。

なお、2008 年のリーマンショック以降に対前年同月比がマイナスに転じた時期は、多くの国で 2008 年末である。最も落ち込みが大きかった時期は 2009 年の 1～5 月頃で国ごとに違いがある。また、対前年同月比がプラスに転じた時期は 2009 年の秋以降である。

## 1. データ整備の目的と方法

2008 年 9 月のリーマンショックに端を発した世界的な金融危機は、世界貿易に大きな影響を与え各国の貿易額を大きく減少させる事態になった。その影響は現時点(2010 年 3 月初旬)でも完全に解消したわけではなく、金融危機以前の貿易水準にまで戻ってはいない。

本調査の狙いは、2008 年末以降におきた世界貿易の縮小がどの程度であったのか、その後の回復状況はどうなっているのか、などを念頭に置き、そうした分析に役立つ貿易データの時系列整備を行うことである。

### (1) 国際貿易マトリックス対象品目による時系列データ整備

各国の輸出入統計データをもとに、国際貿易マトリックスの対象品目のレベルに集約し、1999 年から 2009 年最新時点までの期間を対象に月次(最長 132 期)、四半期(最長 44 期)の各時系列データを作成した。その結果を CD-ROM に収録するとともに、一部を本報告書の 章(財別編)に掲載している。

作成および利用する際の留意事項は事項ごとに整理した。

### (2) HS6 桁レベルの品目による時系列データ整備

各国の輸出入統計データをもとに、1999 年から 2009 年最新時点までの期間を対象に、HS 分類の 6 桁分類レベルで年次(最長 11 期)、月次(最長 132 期)、四半期(最長 44 期)の各時系列データを収集した。各国の全ての相手国を対象にするのではなく、日本等を含む上位(20 カ国)を選んでいる。

国際金融危機およびその後の状況に焦点をあて、分析用として期間を 2007 年以降に短縮(月次データで最長 36 期、四半期データで最長 12 期)し、年額で 1000 万ドル以上の輸出(入)額の品目を選んでいる。

## 2. データ整備および利用上の留意事項

### (1) 使用した貿易統計

使用した貿易統計は日本貿易振興機構のビジネス・ライブラリーでアクセス可能なWTA (World Trade Atlas) に収録した貿易データである。

使用した貿易統計は下表を参照。

表 2-1 データ整備対象の貿易統計 (一覧)

国・地域	価格評価		時点のタイプ			最新時点	本データの資料
	輸出	輸入	年次	四半期	月次		
Japan	FOB	CIF				2009.12	Japan Tariff Association
China	FOB	CIF				2009.12	China Customs
Hong Kong	FOB	CIF				2009.12	Census & Statistics Department, Government of Hong Kong SAR
Singapore	FOB	CIF				2009.12	Singapore Customs
South Korea	FOB	CIF				2009.12	Korea Customs Service
Taiwan	FOB	CIF				2009.12	Statistical Department Taiwan
Indonesia	FOB	CIF				2009.11	Statistics Indonesia
Malaysia	FOB	CIF				2009.10	Department of Statistics Malaysia
Philippines	FOB	CIF				2009.11	Philippines National Statistics Office
Thailand	FOB	CIF				2009.12	Thai Customs Department
Vietnam	FOB	CIF				2008.12	United Nations
India	FOB	CIF				2009.9	DGCI&S, Ministry of Commerce
Australia	FOB	CV				2009.12	Australian Bureau of Statistics
New Zealand	FOB	CIF				2008.12	Statistics New Zealand
U.S.A.	FAS	CV				2009.12	Foreign Trade Division, Bureau of Census
Canada	FOB	FOB				2009.12	Statistics Canada
Mexico	FOB	FOB				2009.11	Ministry of Commerce and Industrial Development
Argentina	FOB	CIF				2008.12	INDEC
Brazil	FOB	FOB				2009.12	Secretariat of Foreign Trade
Chile	FOB	CIF				2008.12	Servicio Nacional De Aduana
Colombia	FOB	CIF				2008.12	Banco de Datos
Costa Rica	FOB	CIF				2008.12	The Central Bank, Customs & Procomer
Panama	FOB	CIF				2008.12	Panama Customs
Peru	FOB	CIF				2008.12	Super Intendencia Nacional de Aduanas
Venezuela	FOB	FOB				2008.12	SENIAT
Austria	FOB	CIF				2008.12	Eurostat
Belgium	FOB	CIF				2008.12	Eurostat
Denmark	FOB	CIF				2008.12	Eurostat
Finland	FOB	CIF				2008.12	Eurostat
France	FOB	CIF				2009.12	Eurostat
Germany	FOB	CIF				2009.11	Eurostat
Greece	FOB	CIF				2008.12	Eurostat
Ireland	FOB	CIF				2008.12	Eurostat
Italy	FOB	CIF				2008.12	Eurostat
Luxembourg	FOB	CIF				2008.12	Eurostat
Netherlands	FOB	CIF				2008.12	Eurostat
Portugal	FOB	CIF				2008.12	Eurostat
Spain	FOB	CIF				2008.12	Eurostat
Sweden	FOB	CIF				2008.12	Eurostat
U.K.	FOB	CIF				2009.12	H.M. Customs and Excise
Czech Republic	FOB	CIF				2008.12	Eurostat
Hungary	FOB	CIF				2008.12	Eurostat
Lithuania	FOB	CIF				2008.12	Eurostat
Poland	FOB	CIF				2008.12	Polish Central Statistics Office
Slovakia	FOB	CIF				2008.12	Eurostat
Slovenia	FOB	CIF				2008.12	Eurostat
Norway	FOB	CIF				2008.12	Statistics Norway
Switzerland	FOB	CIF				2009.12	Swiss Customs
Russia	FOB	CIF				2009.12	Customs Committee of Russia
Ukraine	FOB	CIF				2008.12	State Customs Committee of the Ukraine
Romania	FOB	CIF				2008.12	National Institute of Statistics
Turkey	FOB	CIF				2008.12	State Institute of Statistics
South Africa	FOB	FOB				2008.12	South African Revenue Service

## 1) 月次(四半期)別データ

年次データが利用した貿易統計は 53 カ国・地域

四半期(および月次)データを利用した貿易統計は 21 カ国・地域である。

データ整備の対象国・地域の貿易額が世界貿易に占める割合を、2008 年における世界貿易額と比べると下表のとおり。

表 2-2 データ整備の対象国の貿易額が世界貿易額に占める割合

(単位:10 億ドル、%)

	価 額 (2008 年) (10 億ドル)	(a)に対する 割合(%)	(b)または (c)に対する 割合(%)
世界貿易マトリックスの世界貿易額 (a)	15,664	-	-
IMF 推計の世界貿易輸出額(Fob) (b)	15,993	-	-
同 輸入額(Cif) (c)	16,222	-	-
四半期(および月次)データ利用可能国			
輸出総額の合計	9,868	61.7	61.7
輸入総額の合計	10,665	68.1	65.7

## 2) データの期間

データ整備は、年次データは原則として 1999 年から 2008 年までとし、2009 年の年次データ〔速報を含む〕の入手が可能なものは 2009 年までである。一方、月次および四半期データは最新時点までで、可能な限り 2009 年の 12 月(および第 4 四半期)までをデータ整備することにした。この結果、一部の国の例外を除き、2009 年の最新時点を集めることで 1~12 月、あるいは第 1~第 4 四半期の累計額で年計相当額を作成できるようにした。

### ベトナム貿易統計

ベトナム貿易統計の利用可能な最新時点は 2008 年である

### ドイツ貿易統計

ドイツ貿易統計の利用可能な最新時点は 2009 年 11 月である(2009 年 3 月 9 日現在)

### インドネシア貿易統計

インドネシア貿易統計の利用可能な最新時点は 2009 年 11 月である(2009 年 3 月 9 日現在)

### メキシコ貿易統計

メキシコ貿易統計の利用可能な最新時点は 2009 年 11 月である(2009 年 3 月 9 日現在)

### フィリピン貿易統計

フィリピン貿易統計の利用可能な最新時点は 2009 年 11 月である(2009 年 3 月 9 日現在)

### インド貿易統計

インド貿易統計の利用可能な最新時点は 2009 年 9 月である(2009 年 3 月 9 日現在)

### マレーシア貿易統計

マレーシア貿易統計の利用可能時点は 2009 年 10 月である(2009 年 3 月 9 日現在)